

## カーボンニュートラル実現のための森林管理に関するシンポジウム ー森林信託・インセンティブのあり方等について

新しい資本主義の実現に向けた成長戦略のひとつにカーボンニュートラルの実現がありますが、温室効果ガスの排出抑制のためには経済社会全体の変革が必要であり、吸収源対策といった幅広い分野での取り組みが求められます。しかしながら、対策等は費用を伴うものでもあります。2020年における日本のESG投資資金は310兆円に拡大しており、今後もカーボンニュートラルのための投資が増加するものと考えられますが、森林整備や木材利用等の分野への投資事例は少ないというのが現状です。

一方で、カーボンニュートラル(炭素中立)とともに、サーキュラーエコノミー(循環経済)及びネイチャーポジティブ(自然再興)の同時達成に向けた取組が重要となっています。そして、森林は地球温暖化を緩和(二酸化炭素吸収、化石燃料代替エネルギー)する地球環境保全機能、物質生産機能(木材等)などとともに生物多様性保全機能も有しており、30by30の達成を目指すため、地域等で生物多様性保全が図られている土地の登録・保全が促進されています。加えて、森林経営管理制度(森林経営管理法)による取り組みも進められています。

以上のことから、森林管理・経営等を円滑に行うためのこれまでの取組、最近の動向としての森林信託やインセンティブのあり方等を内容とするシンポジウムを開催します。

※このシンポジウムはトラスト未来フォーラムの助成を受けて開催します。

開催日時 2023年2月10日(金) 13:30~16:00

会場 AP新橋5階Kルーム(東京都港区新橋1-12-9)

主催 一般社団法人産業環境管理協会 産業と環境の会センター

定員 会場20名/オンライン(Zoom)100名

プログラム(予定。講師の方々は会場で講演予定ですが、オンライン対応となる場合もあります)

開会 黒岩 進 一般社団法人産業環境管理協会 専務理事

講演 永島 徹也 株式会社脱炭素化支援機構 取締役常務執行役員  
「温室効果ガス吸収源対策のための事業等への支援について」

風間 篤 三井住友信託銀行 理事 地域共創推進部長  
「森林信託の事例と今後に向けて」

福田 淳 林野庁 森林整備部森林利用課 森林集積推進室長  
「森林経営管理制度について」

中川 考介 パシフィックコンサルタンツ株式会社  
「吸収源対策・クレジット化等のインセンティブ」

小笠原奨悟 パシフィックコンサルタンツ株式会社 グリーン社会戦略部 環境・エネルギー政策室課長補佐  
「防災・減災機能や生物多様性など多面的な機能の活用(グリーンインフラ・30by30など)」

### 会場案内図



- ・参加受付専用アドレス「sankan\_sympo@jemai.or.jp」に、件名を「2023/2/10シンポジウム参加希望」とし、①氏名(漢字・フリガナ)、②勤務先等(会社・部署・役職)、③参加方法(会場/オンライン)、④オンライン参加の場合はメールアドレスをご記入のうえ、お申し込み下さい。
- ・定員は、会場20名、オンライン(Zoom)120名(各先着順)
- ・2月8日以降に会場参加の方には参加証を、オンライン参加の方には参加方法をご連絡します。
- ・録画及び録音はご遠慮下さい。
- ・シンポジウムについての情報(最新のプログラム等)はホームページ(<http://www.sankankai.com>)に掲載します。

・問い合わせはシンポジウム事務局宛(saitoh@jemai.or.jp)にメールでお願いします。参加受付専用アドレスへお問い合わせ頂いてもお答えできませんので、ご了承ください。